

報告書要旨

現職教員を考慮した教員の配属マッチングの設計

255104 倉持誠

この研究は、公立学校への教員配属における二つの課題——①教科別の定員・優先順位を整合的に反映できていないこと、②手続の不透明さにより「正当化された嫉妬」が生じ得ること——に着目する。これに対し、本論文は教科別カットオフ調整関数にもとづく配分ルールを提案し、需要集合とカットオフの反復更新から不動点を構成することで、制度上の制約と選好の両立を図る。具体的には、各「学校×教科」枠について、教科免許保有者の集合に優先順位を制限し、需要が定員を超える場合のみカットオフを一段階引き上げる単調更新を行い、不動点から割当を生成する。得られた割当は教科別定員内であることを保証する実現可能性、個人合理性、および公平性を満たす。さらに、本手続で得られる割当は、これらの条件を満たす他のいかなる割当と比較しても教員側にとって少なくとも劣らないという意味で、教師最適性を満たすことを示す。将来の課題としては、下限制約や教科横断の結合制約を含む一般化、同順位・多様性制約への拡張、計算量評価と実データによる妥当性検証、ならびに確率的配分ルールへの拡張による公正性の精緻化が挙げられる。